

2) 使用する資材

CP303×1粒播種と、同等の栽植密度のLP303-10×2粒播種を比較したところ、収量に差は見られず、12月～1月播種でLP303-10の使用は可能であると考えられた(表2)。

表2 資材別収量調査(2020年7月20日収穫)

播種期	処理区		上物数量			平均一本重 (g)	2L率 (%)	2L+L率 (%)	
	育苗法	育苗資材 播種粒数	(本/a)	(kg/a)	(箱/a)				
12月10日	直置き	CP303	1	1318.2 a	210.9 a	58.7 a	159.6 a	68.6	96.7
		LP303-10	2	1500.0 a	234.3 a	65.2 a	156.2 a	63.8	94.0
1月9日	直置き	CP303	1	1340.9 a	232.7 a	61.7 a	172.9 a	76.5	97.4
		LP303-10	2	1272.7 a	195.2 a	54.4 a	152.7 a	59.7	92.6

※同一符号間はTukey-Kramer法により5%水準で有意差なし

3) 栽植密度(播種粒数)

LP303-10の播種粒数を検討したところ、2粒播種(約20本/m)では、肥大性がより優れ、2L率が高い傾向だった。他方で収穫本数が少なく、上物収量は低くなった。3粒播種(約30本/m)では、1a当たり100ケース程度の収量が得られ、2L率や2L+L率が高く肥大性も申し分ないと考えられた(表3)。

表3 収量調査(2021年7月19日収穫)

播種期	処理区		上物本数			平均一本重 (g)	2L率 (%)	2L+L率 (%)	
	育苗法	育苗資材 播種粒数	(本/a)	(kg/a)	(箱/a)				
12月15日	直置き	LP303-10	2	1424	266.1 b	71.3 b	187.2 a	89.2	97.5
		LP303-10	3	2394	359.5 ab	99.9 a	150.2 a	54.5	93.0
1月6日	直置き	LP303-10	2	1561	262.6 b	72.1 b	168.7 a	75.0	94.1
		LP303-10	3	2530	408.8 a	114.1 a	161.4 a	70.4	96.3

※同一符号間はTukey-Kramer法により5%水準で有意差なし

3 利用上の留意点

(1) 普及の対象地域

日野郡等の標高の高い地域

(2) 注意事項

- 1) 品種は‘夏扇パワー’等、早期肥大性の優れるものが適する。
- 2) 育苗箱は、水稻大苗用など、底面の隙間が広く多いものを利用する。
- 3) 標高550mの圃場での結果であり、気候に応じ栽培時期の調整が必要である。
- 4) 施肥は夏どり慣行を目安に試験したが、適切な施肥量は検討の余地がある。

4 試験担当者

(日南試験地 研究員 前田 真吾)
(試験地長 小谷 和宏)